

1、2019年度泉区予算について

泉区総務課

(1) 区分別総括表

(万円)

	31年度	30年度	差異	前年比
自主企画事業	9,596	9,413	183	102%
統合事務事業	3,998	2,199	1,799	182%
区民利用施設管理費	60,285	59,534	751	101%
合計	73,879	71,146	2,733	104%

- * 統合事務事業(戸籍、住民登録、各種申請等に係る事務費)
- * 施設管理費(区庁舎、公会堂、地区センター、文化センター等)

(2) 自主企画事業費

- * 泉区が地域特性を踏まえ泉区が独自に行う事業

- 魅力ある泉区創り**※① 2,095万円(前年比151%)
若い世代に選ばれ、住み続けたいと思われる魅力的な区を目指し泉区の特徴である農業や伝統文化を生かした町創りを進める。
※①泉区の人口は平成23年の155,725人をピークに減少を続けており、平成31年4月現在で、152,065人。
- 地域活動の広がる町創り** 2,013万円(前年比101%)
自治会町内会等の地域活動の継続、充実、担い手作り等の支援推進。地域の声を施策へ反映する(地域協議会の運営)活動。
- 安全安心な町創り** 1,960万円(前年比113%)
防災体制の整備・強化、地域防災の担い手育成等の推進。防犯活動、交通安全活動並びに食と暮らしの安全対策等の推進。
- 健康と福祉の町創り** 828万円(前年比107%)
高齢者向け「地域包括ケア推進事業」の推進。障害者、児の社会参加促進等の支援。健康づくり活動支援
- 子育てしやすい町創り** 813万円(前年比 74%)
地域での安心の子育て支援。妊娠期から子育て期までの継続した支援事業。保育施設、地域団体との連携による支援体制。
- 信頼される身近な区役所創り** 1,888万円(前年比78%)
区庁舎の環境整備、区民ボランティアによる案内、区民意識調査事業。区民への各種情報提供、発信の充実。

2、日本赤十字社会費(活動資金)募集

日本赤十字泉区地区委員会

- * 例年とおり、5月～6月の期間で、日本赤十字社会費(活動資金)の募集が行われます。詳しくは、福利厚生部から連絡ありますが、可能な範囲でご協力をお願い致します。

- * 尚、日赤会費の徴収は町内会費の徴収時に一緒に行います。窓口は、各班の班長になります。5月の定例会以降、班長さんが各家庭に伺うことになると思います。重ねてお願い致します。

3、家具転倒防止器具取付代行

横浜市総務局地域防災課

- * 横浜市では災害時の家具転倒防止対策の取組を支援するため、高齢者等を対象に取付を無料で代行します。但し、取付器具の代金は、申請者の負担となります。

【対象者】

- ・同居者全員が下記の①～⑥のいずれかであること。
- ①65歳以上
- ②身体障害者手帳の交付を受けている
- ③愛の手帳(療育手帳)の交付を受けている
- ④精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている
- ⑤要介護、または要支援の認定を受けている
- ⑥中学生以下

(注意事項)

- ・取付できる家具は2つまで。
- ・代行期間は、NPO法人横浜市まちづくりセンター
- ・世帯を確認する保険証、手帳等をご用意下さい

(申込期間) 2019年4月1日～7月31日

(申込先) NPO法人横浜市まちづくりセンター

045-262-0667

4、泉区人財バンクについて

泉区地域振興課

- * 泉区人財バンクには、次の個人や団体が登録されています。
 - 自分の経験や知識を地域社会に役立てたいと考える個人
 - 泉区内を中心に活動しているボランティア団体や趣味のサークルやその他の団体。
- * そして、その情報は「サークルに参加したい」という方や「イベントで披露してほしい」「講演会の講師を探している」「ボランティアの仲間を集めたい」など相談を頂いた方へ紹介される。
- * 内容は、音楽からダンス、絵画手芸、さらには子育てや食の知識まで、多種多様です。興味のある方は、是非ともご参加、ご活用下さい。

(問合せ先)

☎いずみ区民活動支援センター ☎800-2393
泉区役所1F104窓口

☎泉区ボランティアセンター ☎802-2150
泉区社会福祉協議会内

5、食中毒予防講習会開催について

泉区生活衛生課

- * お祭りの季節を前に、食中毒予防講習会が以下の日程で開催されます。町内会からは、代表で2～3名の方に出席して頂く予定です。
 - 2019年6月3日(月) 午後2時30分～4時00分
 - 泉区役所4階 ABC会議室